

2019年12月27日

各 位

株式会社八十二銀行

地域活性化ファンド「八十二地域産業グロースサポートファンド」

第7号案件への投資実行について

八十二銀行（頭取 湯本 昭一）が、八十二キャピタル株式会社と共同で運営する「八十二地域産業グロースサポート投資事業有限責任組合」は、本日、標記ファンドの第7号案件として株式会社スキノスに対し投資実行いたしました。

株式会社スキノスは、独自の特許技術である発汗計測技術を活用して、発汗量をリアルタイムに定量可能な計測機器を製品化し、メーカーや大学・研究機関などに販売している「信州大学発ベンチャー」です。2019年5月には医療機器製造販売業の許可を取得し、医療機器の販売を開始しています。当社では、今後も独自の特許技術である発汗計測技術を主軸に、魅力ある製品を作り出すための研究・開発に取り組んでいく予定です。

以下に概要をお知らせいたします。

【投資案件の概要】

投資先名	株式会社スキノス
所在地	長野県上田市踏入
代表者	百瀬 英哉
設立年月	2017年4月
投資額	49.5百万円
資金使途	医療機器の新製品開発及び認証費、小型デバイスの研究開発費等

<参考>「八十二地域産業グロースサポートファンド」の概要

名称	八十二地域産業グロースサポート投資事業有限責任組合
ファンド総額	5億円
組合員構成	八十二銀行、八十二キャピタル株式会社
設立日	2015年3月20日
存続期間	2025年3月31日
業務運営者	八十二キャピタル株式会社

以上